

協働パイロット事業（H21）企画提案書

団体名：日本平動物園ガイドボランティア

1. 事業の名称

日本平動物園 新・猛獣館オープン告知事業

2. 事業方針（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください）

動物園は、単に各種の動物を展示するだけでなく、動物や自然環境に対する関心を喚起し、生命の大切さなどを伝える場として重要な役割を担っています。特に今回オープンする猛獣館は、生き生きとした動物本来の姿を来園者に見せ、さらに飼育職員等による解説などを行おうとするものであり、その効果を飛躍的に高めることが期待されています。なお、日本平動物園は今年8月に開園40周年を迎え、今後も再整備を進めていく計画であり、猛獣館はその第1弾となります。

一方、日本平動物園ガイドボランティア（以下「NZGV」という。）は、日本平動物園において動物のガイド、小動物とのふれあい補助、学校の依頼による児童等への解説を行っている団体です。平成21年度には活動開始から10周年を経過し、これまで行ってきた活動をさらに充実させるとともに、新たな活動にも挑戦していきたいと考えています。

今回の告知事業は、静岡市立日本平動物園とNZGV、さらに静岡市動物園協会の3者が協働し、さまざまな市民のニーズに応じたPR活動を行うと共に、今後の新たな事業展開の礎となるよう企画検討した事業です。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

NZGVは、日常動物園内において動物ガイド、小動物とのふれあい補助、児童の引率などを実施しており、動物園の公益的役割を担っています。より市民に近い視点で動物園事業を捉えており、市民に対するアピール等の事業のノウハウや提案力を持っていると自負しております。

本事業にあたっては企画及び運営を行い、事業スタッフもNZGVが中心となり、実施いたします。

行政に対しては、会場の目的外使用許可取得及び会場の設置支援ならびに備品、小動物の貸与及び搬送、管理や協会事業の実施について動物園及び動物園協会のご協力をお願いする予定です。

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

新・猛獣館のオープンについて、多くの人々（目標1万人）に対して、以下のとおり実施します。

1. 日本平動物園及び新・猛獣館の良さを、人から人に直接PRすることにより、来園者の増加を目指します。
2. NZGVの活動と意義を広くアピールし、ボランティアへの参加を促すことにより、日本平動物園の公益的機能の増強を計ります。

5. 事業計画

◎ 目的

市民に対して、日本平動物園及び新猛獣館の案内、ガイドボランティアの紹介と参加募集を行います。

◎ 日時

平成22年3月6日（土） 10:00～15:00

7日（日） 10:00～15:00

◎ 場所

静岡市葵区呉服町 青葉緑地B1ブース

◎ 出展内容

★動物園及び新猛獣館告知ブース

動物園による新施設紹介、春の動物園まつり等の紹介を行います。展示パネルの作成等は動物園とNZGVが協力し、展示についてはNZGVスタッフが行います。

★小動物とのふれあいブース

動物園の子供動物園で実施しているウサギ、ヒヨコ等をNZGVスタッフによって子供たちとのふれあいを実施します。

★ガイドボランティア紹介ブース

このイベントでは、NZGVの活動PRを行い、10周年事業として作成する紙芝居の上演（新規の活動）などの活動紹介を行います。併せて新メンバーの募集も行いたいと考えています。

★静岡市動物園協会ブース

動物園協会による公益事業PRと参加募集などを計画しています。

6. スケジュール

平成21年7月	企画案について三者協議（動物園、動物園協会、ガイドボランティア）
平成21年8月	企画案について三者協議 企画決定
平成21年9月	印刷物等の原稿作業開始
平成21年11月	参加スタッフ募集及び原稿等の内容確認
平成21年12月	三者協議（確認、調整） 動物園による印刷物等の内容確認
平成22年1月	パンフレット等印刷物の発注、備品等の購入、レンタル用品の契約等 参加スタッフの調整
平成22年2月	三者協議（最終確認、調整） 動物園の備品等貸出手続 その他出展準備
平成22年3月	事業実施 事業報告書作成

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

チーフコーディネーター	: 片山 富士男 H15～ ガイド班リーダー H17～18、21 チーフコーディネーター
サブチーフコーディネーター	: 山之内 泰司 H15～ 教育班リーダー H15～16、19～20 チーフコーディネーター
事務局	: 佐渡友 陽一 H18～ 事務局を担当 井川 健太郎 H19～20 ガイド班リーダー H21 募集・研修を担当
わくわく班リーダー	: 渡辺 智恵子 H18～ ガイド班リーダー (主に中型サル、トラ、ライオン、ゾウ、キリン、オオアリクイ等を担当)
ウキウキ班リーダー	: 野下 浩司 H21～ ガイド班リーダー (主にダチョウ、マレーバク、小型サル、レッサーパンダ、ホッキョクグマ等を担当)
ふれあい班リーダー	: 本多 勇治 H17～ ふれあい班リーダー ヒヨコ、ウサギ、モルモット、ポニー他

8. 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績など)

NZGVは、平成11年度から活動を始めており、21年度は10周年を迎え、さらなるステップアップを目指しています。特に、活動内容を基本的に自分たちで考えて構築していることは類似の博物館・美術館等のボランティア組織に対してもアドバンテージを持っていると考えています。

動物園や水族館のボランティアは、全国的にかなり一般的になってきましたが、自分たちの意志で活動を広げ、よりよい活動とするために自立的に努力しているのが私たちの特徴です。特に、ふれあい補助は年間100日にもなる頻度の高い活動で、職員によるコーディネートや昼食費・交通費の支給なしに、これだけの活動を維持している事例は稀であると考えます。実際、私たちもこの活動の維持には四苦八苦してきましたが、最近、活動内容も質的にも量的にも向上しつつあります。

我々は、10年間のキャリアの中で、動物のハンドリング技術、動物への接し方の指導方法などについても繰り返し研修を実施しており、動物ガイドについてはガイドツールの作成や案内技術の検討などを行ってきており、専門性と技術については動物園側からも高く評価されております。

この企画を通じて、さらにボランティア活動を活性化させるとともに、動物園や動物園協会との絆も強化していきたいと考えています。

また、今後、活動フィールドを動物園外にも広げ、対外的な出張ふれあい事業や活動紹介事業、対市民向け公益事業にも積極的に参加していきたいと考えています。

協働パイロット事業 (H21) 見積書

団体名：日本平動物園ガイドボランティア

企画のタイトル： 日本平動物園 新・猛獣館オープン告知事業

項目	金額	説明
事業費		
印刷製本費	60,000	両面カラーA4チラシ (@6×10,000)
器材費	90,000	イベント看板作成、展示用パネル他
エアアーチ借り上げ	(45,000)	
展示用アルミパネル	(45,000)	@3,000×15
消耗品費	16,000	工作コーナー材料、プリンタインク、用紙等
食料費	24,000	当日スタッフ昼食 (@800×15人×2日)
通信費	8,000	会員向資料等発送費用
間接経費		
企画会議費・調査費	40,000	企画会議費、書籍購入費等
小計 A	238,000	
消費税 B = A × 0.05	11,900	
合計 A + B	249,900	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 (無)

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途

企画提案の概要書

提案団体名	日本平動物園ガイドボランティア
企画案のタイトル	日本平動物園 新・猛獣館オープン告知事業
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>平成22年春に予定されている日本平動物園の新猛獣館供用開始に合わせて、青葉緑地で告知を行い、動物園事業の周知と来園者数の増加を目指す。</p> <p>1. 場所 青葉緑地B1</p> <p>2. 日程 平成22年3月6日(土)、7日(日)</p> <p>3. 出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物園告知ブース ・小動物とのふれあいブース ・工作コーナー ・日本平動物園ガイドボランティア紹介ブース ・動物園公益活動紹介ブース(静岡市動物園協会) <p>4. その他 当日配布用パンフレット印刷、展示用パネル作成等</p>
金額	249,900 円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。